

# ごみ減量アイデアを 紹介します



わたしにもできる!

あなたにもできる!

平成28年11月 発行：ごみ対策課

平成28年8月にごみ減量アイデアコンテストを実施し、家庭で取り組んでいるごみ減量方法や工夫していることなどを募集したところ、市民のみなさんから多数ご応募をいただきました。本当にありがとうございました。

ご応募いただいたアイデアの中から、ごみ減量効果が期待でき、誰でも手軽に取り組めるアイデアを3点ご紹介します。ぜひ、あなたの生活にも取り入れてみてください!



## 生ごみすっきりスリムで賞

**Reduce**  
発生抑制

生ごみは、<sup>ようじ</sup>楊枝で底に穴を開けたビニール袋に入れてひと晩水切りをする

**ポイント**

生ごみを捨てる前にほんの一手間かけることで、生ごみに含まれる水分を減らし、においも抑えることができます。特別なグッズを用意することなく簡単に取り組める、水切りに非常に有効なアイデアです。家庭から出るごみの約9割が可燃ごみで、その約半分が生ごみに含まれる水分です。生ごみをぎゅっとひとしぼりすることで、ごみをぐんと減らすことができます。

気づいた時からあたり前だと思ってやっていたことが賞に選ばれ、とても驚いています。生ごみの水切りをする人が1人でも増えればうれしく思います。

山下のり子さん



## まだまだ現役で賞

**Reuse**  
再使用

ちょっとした故障は修理して使うことで、ごみの減量や物を大切に使う心が育つ。工作の楽しさを感じられる。  
◎壊れたピンチハンガーでも、麻ひもで補強して再使用

**ポイント**

安易に新しい物を購入することなく、修理して長く使うことはごみを減らすために有効な手段の一つです。みなさんは修理できるもの、本当はまだ使えるものを捨てていませんか? 壊れてしまったり古くなったりしたからといって、そのまま捨ててしまうのはもったいないです。ごみとして出す前に、あなたの工夫とアイデアで物を大切に、とことん使ってあげましょう。



尾崎理沙さん

物を大切に使うことが、ごみの減量につながると考えています。子どものおもちゃも簡単な物は手作りしています。子どもにも「物を大切にすること」を伝えていきたいと思っています。

# そうはいつでも一番身近なリサイクルで賞

Recycle  
再生利用 リサイクル

## 雑がみや牛乳パックは地域の資源回収等へ出す

### ポイント

菓子箱やメモ用紙といった雑がみを資源として分別し、可燃ごみを減らすことはとても大切なことです。昨年実施した独自の調査では、可燃ごみの中に3割程の雑がみが含まれていました。雑がみや牛乳パックは、正しく分別して資源回収へ出すことで、新しい製品に生まれ変わります。「混ぜればごみ、分ければ資源」です。ごみを出す前に資源が混ざっていないかもう一度確かめましょう。



資源回収

ごみ処理にかかる負担が少しでも減ればという気持ちで取り組んでいます。資源回収へ出すこと以外にも生ごみや草、枝なども細かく切って干してからごみ出しをしています。

石川さん



みなさんのまわりには、ごみ減量のために日々工夫されている方がたくさんいらっしゃいます。紹介アイデアを参考に、できることからごみを減らす工夫をしてみましょう！



磐田市イメージキャラクター しゅべり

### あなたのリサイクル活動を応援します！

#### ○コンポスト設置費の一部を助成します

可燃ごみを出すときに、嫌なおいがしたりごみ袋がとても重くなったりしていませんか？その原因は、生ごみに含まれる水分かもしれません。生ごみ堆肥化容器（コンポスト）は生ごみの水分を減らすだけでなく、堆肥にリサイクルでき、ごみの量を減らすことができます。

- ▼対象者 市内に住所がある方
- ▼補助金額 1台あたり購入金額の2分の1以内で上限金額3,000円（100円未満切り捨て）  
※1世帯につき2台まで ※電動式の生ごみ処理機は補助の対象外



#### ○資源回収を実施する団体を支援します

市では、市内で活動する団体（自治会・PTA・子ども会、その他営利を目的としない団体）が実施する資源回収活動を支援しています。資源物の回収量に応じて1kgにつき4円の奨励金を交付します。

- ▼対象回収品目 新聞紙、雑誌、段ボール、牛乳パック、シュレッダー紙、その他紙類、空きびん、空き缶、古布
- ▼手続き方法

- ① 団体登録を行う
- ② 収集日時、場所、品目を決める
- ③ 資源回収を実施
- ④ 奨励金の申請

### いそじ会が環境大臣賞を受賞！



平成28年10月に「消費研究グループいそじ会（会長 安間美恵子さん）」が、3R推進全国大会において最も栄誉ある「平成28年度循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰」を受賞されました。これは、長年にわたる上質古紙の回収事業をはじめとするごみの減量化・再資源化への取り組みが高く評価されたものです。



#### 家庭ごみに関するお問い合わせ

磐田市ごみ対策課 磐田市刑部島301（クリーンセンター内） TEL 0538-37-4812 FAX 0538-36-9797